

地域食堂ほっこり広場

食を通じたコミュニティづくり

コミュニケーション社会学科3年生 8名

アウトライン

- ▶ 1. 前期の振り返り
- ▶ 2. 後期活動内容
- ▶ 3. アンケート
- ▶ 4. 成果と課題
- ▶ 5. 今後の予定

前期の概要

背景

平成23年から平成29年では
孤食している人の割合が5%増加している



目的

地域食堂とは？

- ・ 孤独である高齢者や親との共食が難しい子供に対し、共食の機会・場を提供する
- ・ アットホームな雰囲気でのこの地域食堂から街おこしを促す

後期活動内容

後期ほっこり広場スケジュール

9月

- 3色おはぎ

11月初旬

- 秋のスイーツ

11月下旬

- カレーライス

12月

- クリスマス会

おはぎ

9月28日

メニュー 三色おはぎ



秋のスイーツ

11月2日

メニュー

スイートポテト かぼちゃのタルト



準備過程→



ランチ会

11月30日

ランチ会

- ▶ 11月30日
- ▶ メニュー カレーライス
- ▶ 時間 昼12時から 初の試み

クリスマス会

12月21日

メニュー

- チョコレートブラウニー
- フルーツポンチ
- バターケーキ



まちラボ 装飾



1か月のスケジュール

第1週

前回の反省会
次回の提案

第2週

実行委員会と
会議

第3週

- ・ 装飾品の買い出し
- ・ ポスター作成
- ・ 事前準備

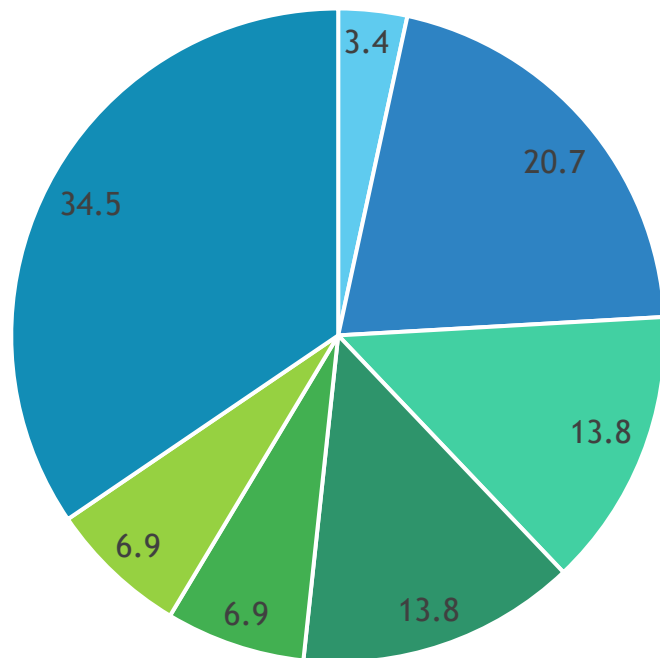
第4週

ほっこり広場
開催

アンケート結果

アンケート

年齢



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

- 参加者の40%以上が高齢者
- 学生の参加もあった
- 子供の参加もあった

アンケート

- ▶ 2回以上の参加が多い
- ▶ 口コミでイベントの存在を知る
- ▶ チラシ、掲示板の効果が乏しい

参加者の声

- ▶ 豪華でした。ご馳走様。簡単な調理なら参加してみたいです。
- ▶ 楽しい時間をありがとうございました。文京学院のことも少し知ることができてよかったですと思います。学生さんありがとう。
- ▶ 皆さん特に若い方とお話もできるので楽しいです。
- ▶ 作り方も知りたかった。

成果と課題

成果

- ▶ 学生が自主的に動くことができた
- ▶ 地域の人と親交を深めることができ、リピーターも増えた
- ▶ 満足度が高い
- ▶ 口コミの広がり
- ▶ 実行委員の方との連携がとれた
- ▶ 利用者の層は70歳以上の女性が多く、開催していくにつれ、子供連れも多くなってきた
- ▶ 文京幼稚園や町会の協力もあり、掲示板や町会新聞などで紹介してもらえた
- ▶ 「ほっこり広場」を一つの契機にして、向丘地区にひとつのつながりが形成される契機をもたらしている

課題

- ▶ 参加者同士の交流
- ▶ 参加者の年齢層の偏り
- ▶ 若い世代の参加率の低さ
- ▶ 新規の参加者が少ない
- ▶ 開催時間
- ▶ 実行委員の方とのスケジュール調整

今後の予定

今後の予定

▶ 2月6日 予行練習

▶ 2月8日 感謝祭

今まで ほっこり広場実行委員中心

今回 学生が中心に企画・運営

予行練習で調理の練習

メニュー おにぎり  豚汁 

時間 12時30分～14時30分